

## はじめに

少子・高齢社会の急速な進行とともに、「団塊世代」の方々が高齢者世代に加わる時期を目前に控え、高齢者自身を高齢社会を支える貴重なマンパワーとして位置付けていくことが、社会を活力あるものとする上で必要不可欠となっています。

しかしその反面、高齢者が社会参加をする意欲を持ちながらも、情報やきっかけがないために活動の場を得ることが困難な状況にもあります。

このような背景から、県では、高齢者がその能力を最大限に発揮し、生きがいを持って生活への意欲を高めていくことのできる環境の構築を目的として、「元気高齢者を中心とした地域貢献活動」の取り組みを支援し、高齢者の社会参加を促進するため、一昨年度から「元気高齢者チャレンジ推進事業」を実施しております。

この事業の一環として、県が「高齢者を中心とした地域貢献活動団体」を募集し、昨年10月28日に県内の各地域振興局・支庁から選ばれた7つの団体の表彰式・事例発表会を、県社会福祉協議会が県と共催で、かごしま県民交流センターで開催しました。

事例発表会では、地域おこしや様々なボランティア活動で地域社会に多大な貢献をされている7つの団体が活動状況を紹介されるとともに、鹿児島大学名誉教授で、霧島市溝辺町竹子で合鴨農法を基軸とする萬田農園を経営されている萬田正治氏の『唱歌「故郷」を想う』と題した基調講演があり、参加者からは「大きな感動を受けた」との評価を得たところです。

ここに、今回表彰された7団体の活動状況と基調講演の内容を取りまとめましたので、皆様の今後の活動の際の参考にしていただけたら幸いです。

最後に、当事業にご応募いただきました各団体の皆様、及び表彰式・事例発表会の開催に当たりご協力を賜りました関係機関・団体の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成23年 3月